

第6節 学校安全会

1 加入状況

昭和45年度の加入児童・生徒・学生等の数は、474,537名で、前年に比し12,180名減少したが、加入率は前年より0.1%増え99.2%である。絶対数では、小学校7,369名、中学校7,000名、高等学校全日制2,211名の減少であるが、これは

小・中・高等学校の児童・生徒数の自然減によるものである。なお、幼稚園1,112名、保育所795名、高等専門学校学生25名が増加している。

加入学校数は前年より21校増加しているが、これは新設された幼稚園、保育所が加入したためである。

義務教育の加入率は99.9%と特殊事情にある児童・生徒を除き全員加入しており、全日制高校も99.9%の加入率を示しているが、定時制高校は加入率85.2%と若干の未加入者があり、また、私立保育所の加入も64%と低率を示している。

昭和45年度加入状況

	区 分		学 校 数			児 童 ・ 生 徒 数			
			総 数	加入学校数	百 分 比	総 数	加入児童・生徒数	百 分 比	
義務教育関係	国立	小学校	1	1	100	892	892	100	
		中学校	1	1	100	575	575	100	
		計	2	2	100	1,467	1,467	100	
	公立	小学校	585	585	100	211,958	211,929	99.9	
		中学校	307	307	100	122,077	122,056	99.9	
		計	892	892	100	334,035	333,985	99.9	
	私立	小学校	3	3	100	958	958	100	
		中学校	3	3	100	571	571	100	
		計	6	6	100	1,529	1,529	100	
	合計	小学校	589	589	100	213,808	213,779	99.9	
中学校		311	311	100	123,223	123,202	99.9		
計		900	900	100	337,031	336,981	99.9		
義務教育以外の関係	国立	高等専門学校	1	1	100	781	781	100	
		幼稚園	1	1	100	71	71	100	
	公立	全日制	80	80	100	75,590	75,534	99.9	
		定時制	33	27	81.8	7,030	5,987	85.2	
		高等学校	2	2	100	1,240	1,240	100	
		計	115	109	94.8	83,860	82,761	98.7	
		幼稚園	114	113	99.1	8,339	8,322	99.8	
	私立	保育所	148	148	100	10,953	10,943	99.9	
		通信教育	全日制	17	17	100	16,231	16,230	99.9
			定時制	1	1	100	31	31	100
			通信教育	1	—	—	100	—	—
		高等学校	19	18	94.7	16,362	16,261	99.4	
		幼稚園	131	119	90.8	17,034	15,946	93.6	
保育所		44	29	65.9	3,861	2,471	64.0		
合計	573	538	93.9	141,261	137,556	97.4			
総計	1,473	1,438	97.6	478,292	474,537	99.2			

2 災害共済給付の状況

昭和45年度の給付件数は10,518件で前年に比し424件の減少を示したが、給付金総額は43,476,571円で、前年度よりも8,685,755円の増加をみせた。

100人当たりの給付件数は(%)高等専門学校の4.09%が最高で、次に中学校の3.44%、全日制高等学校の2.27%、小学校の1.76%となり、定時制高校、幼稚園、保育所は比較的 low rate を示している。

1件当たりの平均給付額は、定時制高校が最高を示し、ついで高等専門学校、全日制高校が、小・中学校に比し高額で負傷の程度が一般に重いことがわかる。

全国平均の給付率3.43%、1件当たり平均給付額2,505円と比較すると、給付率においては本県は2.22%と低いが、平均給付額は4,134円と高額であり、重傷の割合が多いことを示している。

学校管理下の場合別にみた災害の発生状況は例年と同様の傾向がみられ、小学校においては休憩時間中の災害が全災害の49.7%を示めている。中学校においては、各教科道徳中と特別教育活動中(ともに体育実技が大部分である)の災害が全災害の66.2%を占め、高等学校においてはさらにこの傾向が強く、両方で全災害の86.2%を占める。